

明日に架ける橋

卒業後の進路

新学期になり、どの学年も新しい担任の先生との面談が始まっています。前号で進路実現に向けてのシステムの概要をお伝えしましたが、今号で詳細を記します。十分に理解して、学習に取り組みましょう。

(進学)

(1)大学入試

- ①一般選抜・・・以前は一般入試と呼ばれていた入試
 - ・国公立大学は、1月中旬の共通テストと、2月下旬からの二次試験による総合判断で合否が決まります。
 - ・私立大学は、1月下旬から3月中旬にかけて実施される個別試験(3教科型または2教科以下型)での選考が中心になります。
 - ・私立大学でも、共通テストを利用できる受験方式を採用している学校が多くあります。
- ②学校推薦型選抜：公募制推薦
 - ・国公立大学の公募制推薦は専願であり、合格すれば必ず入学しなければなりません。9月の校内推薦会議で認められた人だけが出願できます。成績、出欠状況、課外活動、人物などを総合判定します。
 - ・国公立大学の公募制推薦は、共通テストを課す大学が多いです。共通テストが課されない場合でも、小論文、筆記試験が試験科目の大学が多く、いずれにせよかなりの学力が求められます。
 - ・私立大学の公募制推薦は、校内の推薦会議で認められれば出願できます。11月に実施され、併願可能の大学も多いです。第一志望校であれば挑戦してみるのもよいでしょう。多くの大学が、学力試験を課します。
- ③学校推薦型選抜：指定校推薦
 - ・私立大学が、特定の高校を指定して実施する選抜方法です。出願希望者は9月の校内選考会で推薦されれば、出願することができます。選考は、3年間の学習成績、出欠状況、特別活動、生活態度、人物など総合的に判断します。
 - ・明石高校に対して、どの大学のどの学部・学科から指定校推薦枠をいただけるのかは9月上旬に判明します。昨年までは指定校のあった大学が今年はなくなったというケースはよくあります。昨年の指定校一覧は進路指導室で見ることができますので、必要な人は進路指導室に来てください。
 - ・3年夏の三者面談で第一志望校の確認をします。第一志望校が指定校にある場合のみ、指定校推薦に応募することができます。
 - ・指定校入試は書類と面接試験だけの大学が多いですが、合格後に入学前課題を課す大学が増えています。また多くの大学では、入学後4年間の追跡調査を実施しています。指定校で入学した学生が、大学入学後に成績不振であったり、大学が望むような学生でなかったりした場合は、明石高校への指定校が無くなることもあります。指定校推薦を希望する人は、母校や後輩への大きな責任を負うという自覚を持ってください。

④学校推薦型選抜：特別選抜

- ・スポーツや文化活動で顕著な実績のある生徒の選抜方法です。大学によって推薦基準や条件が違いますので、顧問の先生と早く相談してください。

⑤総合型選抜

- ・従来「AO入試(アドミッションオフィス入試)」や「自己推薦入試」と呼ばれていた選抜方法です。国公立大学、私立大学ともに実施しています。専願が大半ですが、併願可の大学もあります。
- ・書類、面接、小論文、課題、研究発表など、大学によってさまざまな選抜方法を行っています。
- ・探究活動の成果を活用できる大学が増えており、今年の卒業生の中にも探究活動が評価されて、国立大学や難関私立大学に合格した人もいます。

(2)短期大学入試

2025年度 進路だより 第2号
兵庫県立明石高等学校進路指導部
2025年5月9日発行

- ・基本的システムは、4年制大学入試と同じです。4年制大学を併設している学校は、学内併願可能が多いです。

(3)専門学校入試

- ・総合型選抜、学校推薦型選抜で入学生を確保している学校が大半ですが、一般選抜もあります。総合型選抜、学校推薦型選抜の形態も学校によって様々ですので、早い目に調べるのが大切です。
- ・高校での学業成績優秀な生徒の特待生制度(入学金や授業料の免除)を採用している学校も多くあります。

(就職)

(1)民間企業

- ・3年1学期初めに就職登録を行います。
- ・夏休みに、校内選考会議が行われます。成績、出欠状況、課外活動、人物などを総合的に判定します。
- ・9月中旬より入社試験が行われます。
- ・民間企業は専願ですので、他の進路と掛け持ちをすることはできません。

(2)公務員

- ・3年1学期初めに公務員志望登録を行います。
- ・大きく分けて国家公務員と地方公務員の高卒者採用を受験できます。
- ・職種によっては3年6月中に出願締め切りのところもあります。
- ・進学との併願は可能ですが、民間企業との併願は不可です。

調査書の重要性

まもなく中間考査です。1年次生の人は、高校で初めての定期考査になります。また1年次の中間考査からが調査書の資料になります。上級生はすでに知っていると思いますが改めて高校の調査書の持つ意味、重要性を理解してください。

①調査書は、大学・専門学校等受験の際、就職試験受験の際に必要です。

②指定校推薦校内選考、国公立大学推薦等の校内選考の主資料になります。

③上記の推薦入試および就職試験に必要な調査書の期間は、1年1学期から3年1学期末までです。

④調査書の記載内容は、学習成績、出欠状況、部活動・生徒会活動・特別活動状況、取得資格、などです。学習成績は、5段階評価が記載されます。

⑤3年1学期までの調査書で推薦入試合格で進学する生徒に、卒業時の調査書提出を求める大学があります。

⑥調査書は卒業後も必要な場合があります。

- ・大学や専門学校に進学後の奨学金の申請の際

- ・大学や専門学校卒業時の就職試験の際

1年1学期から成績が調査書に入ります。1年次生は、大学受験や就職試験の第一歩がこの中間考査という事実を忘れず、中間考査に全力投球してください。もちろん、学習評価は定期考査ではありません。実技・実習の点数、提出物や小テストの点数、授業態度や欠席状況、など総合的な要素をもとにして評定がつけます。2年生・3年生は前年度までよりも評定が上がるように頑張りましょう。

現実として、調査書を最も意識するのは、3年生2学期の推薦入試や就職試験の時だと思います。しかし上記で述べたように、多くの人は3年生学年末までの調査書が、卒業後必要になってきます。仮に推薦入試で2学期に進学する大学が決まった人が、最終の調査書の成績が下がればどうでしょう？ 指定校推薦で2学期に合格内定が出た人が、最終の調査書の成績が下がればどうなるのでしょうか？ 大学や専門学校に進学した人が、奨学金の申請の際に評定の低い調査書だとどうでしょう？

先日も、皆さんの先輩の大学4年生が複数名、調査書を取りに来ました。就職試験を受けるにあたって、高校の調査書の提出を求められたというものです。

自分の損得のために調査書は存在するものではありませんが、学習成績は高い方が、部活動は3年間やりきった方が、欠席は少ない方が、それぞれ良いに決まっています。高校生活を全力で頑張った証を、自分のためにもぜひ残してください。

